



H-9 土層断面 W→E



H-9 完掘 E→W



H-10 土層断面 E→W



H-10 完掘 E→W



H-11 土層断面 S→N



H-11 完掘 E→W



H-12 土層断面 SW→NE



H-12 完掘 S→N

H-9・10・11・12の調査



H-14 土層断面 NE → SW



H-14 完掘 E → W



H-15 土層断面 NW → SE



H-15 完掘 SE → NW



H-13 土層断面 W → E



H-16 石斧出土状況 S → N



H-16 土層断面 W → E



H-16 完掘 SE → NW



P-1 南西側遺物出土状況 SW → NE



P-1 土層断面 SW → NE



P-1 北側遺物出土状況 SW → NE



P-2 土層断面 NW → SE



P-3 土層断面 NE → SW



P-2 完掘 N → S



P-3 完掘 NE → SW



P-3 炭化クルミ出土状況 NE → SW



P-4 土層断面 NE → SW



P-4 土器出土状況 N → S



P-4 土器出土状況 N → S



P-4 土器出土状況 NE → SW



P-5 土層断面 SE → NW



P-6 土器出土状況 NE → SW



P-7 土層断面 SW → NE



P-8 土層断面 SW → NE

P-4・5・6・7・8の調査



P-9 土層断面 SW → NE



P-10 土層断面 NW → SE



P-11 土層断面 S → N



P-12 土層断面 SW → NE



P-13 確認状況 S → N



P-13 土層断面 SW → NE



P-13 完掘 S → N



P-14 土層断面 SW → NE

P-9・10・11・12・13・14 の調査



沢跡 土層断面 W → E



沢跡付近 調査状況 S → N



沢跡付近 調査状況 S → N



調査状況 SW → NE



調査状況 SE → NW

沢跡の調査・調査状況

H-1

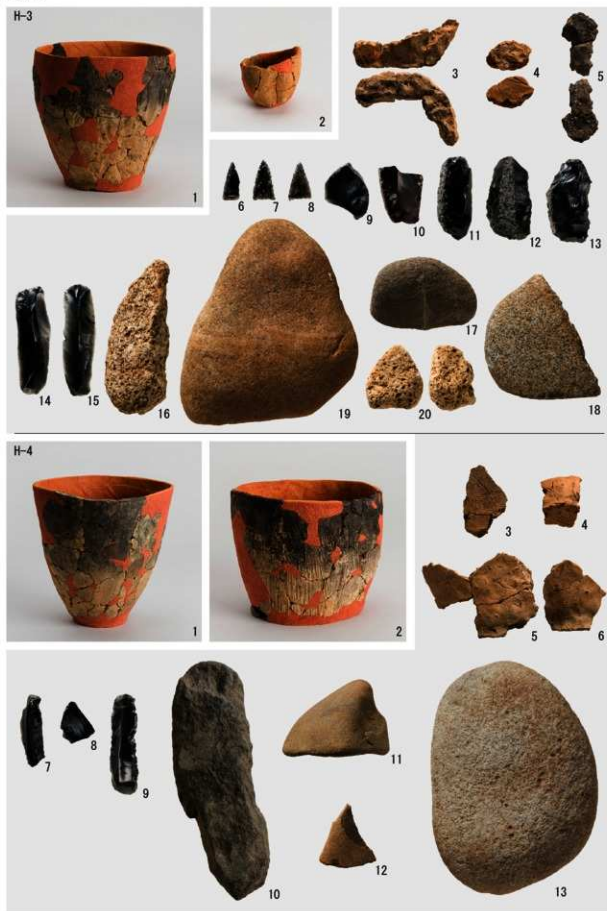


H-2



H-1・2 出土の遺物

※ 剥片石器 S=1/2 拓本土器・礫石器・土製品・石製品 S=1/3 大型礫石器 S=1/4



H-3・4 出土の遺物

※ 割片石器 S=1/2 拓本土器・礫石器・土製品・石製品 S=1/3 大型礫石器 S=1/4

H-5



4



H-6



H-7

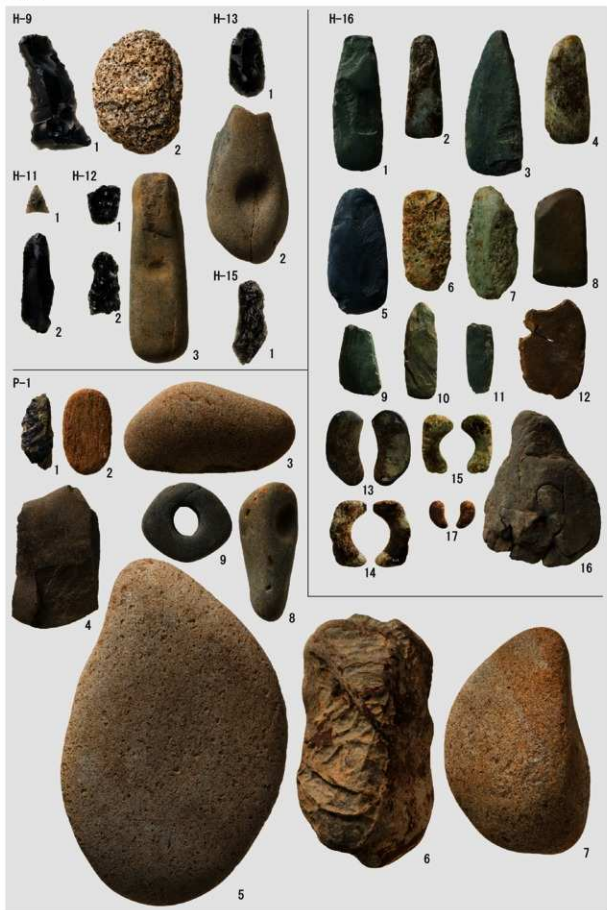


H-8



H-5・6・7・8 出土の遺物

※ 割片石器 S=1/2 拓本土器・礫石器・土製品・石製品 S=1/3 大型礫石器 S=1/4



H-9・11・12・13・15・16・P-1 出土の遺物

※割片石器 S=1/2 拓本土器・礫石器・土製品・石製品 S=1/3 大型礫石器 S=1/4



P-2・4・6・9・12・13・14・沢付近出土の遺物

※ 割片石器 S=1/2 拓本土器・礫石器・土製品・石製品 S=1/3 大型礫石器 S=1/4



包含層出土の遺物

※ 剥片石器 S=1/2 拓本土器・礫石器・土製品・石製品 S=1/3 大型礫石器 S=1/4

報告書抄録

ふりがな	まぐべつちよう とべつないせき							
書名	幕別町 途別7道跡							
副書名	道営農業農村整備事業西幕別第3地区埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ名	(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 (北埋調報)							
シリーズ番号	第380集							
編著者名	藤井浩・富永勝也・吉田裕吏洋							
編集機関	(公財)北海道埋蔵文化財センター							
所在地	〒069-0832 北海道江別市西野幌685番地1 TEL(011)386-3231							
発行年月日	西暦2025年 3月 14日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収道跡	所在地	市町村	道跡番号					
途別7道跡	北海道中川郡幕別町	01643	L-14	42度	143度	20240701 ～ 20241005	2175㎡	道営農業農村整備事業西幕別第3地区区画整理工事に伴う事前調査
	字途別259-1		-106	51分	13分			
				31秒	22秒			
所収道跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
途別7道跡	遺物 包蔵地	縄文時代 早期初頭	堅穴住居跡 土坑 焼土		縄文土器 晩式を主体に、中茶路式、縄文式、北筒式など 石器 晩式に伴う石器組成		早期中葉の晩式土器期の集落跡が検出された。また、早期後葉の中茶路式土器期の土坑群がみつかり、断面形状はフラスコ状を呈することが確認された。	
概要								
道跡は幕別町と帯広市の境界にあり、幕別市街地から西南へ12kmに位置する。立地は途別川の左岸、標高約70mの河岸段丘上に位置する。縄文時代早期初頭の時期を主体とし、十勝地域の「晩式土器」が出土する。遺構は、早期初頭の晩式土器の時期の堅穴式住居跡が16軒、土坑14基のうち、8基が晩式土器期、残りは早期後半の中茶路式土器期のものが6基、焼土跡が1か所検出された。以上のことから、晩式土器期の集落跡に重複して中茶路式土器期の墓域が形成されたとみられる。遺物は、堅穴覆土の下層から黒曜石製の剥片が多数出土したほか、同様の素材を用いた剥片石器(石槍・石鏃・石鏃・つまみ付きナイフ・削器・彫器・搔器)が出土する。このほか砂岩や花崗岩、閃緑岩を素材に加工された礎石(台石・砥石・すり石・たたき石・磨製石斧・磨製刃器など)が出土している。								

(公財)北海道埋蔵文化財センター調査報告書 第380集

幕別町 途別7遺跡

道営農業農村整備事業西幕別第3地区埋蔵文化財調査報告書

発行 令和7(2025)年3月14日
編集 公益財団法人 北海道埋蔵文化財センター
〒069-0832 江別市西野幌685番地1
TEL (011)386-3231 FAX (011)386-3238

印刷 札幌大同印刷株式会社
〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条2丁目1-1
TEL011-897-9711